

CASE
- 04 -

海外のアンティーク照明など こだわりパーツで個性をプラスし 雑貨の似合う住まい

茨城・Hさん ● 設計・施工 / エフリッジホーム

パーツ選びや施工で
理想通りの住まいを実現

アンティーク雑貨が好きで、「自分で探したパーツを使いオリジナリティある家づくりをしたい」と考えていたHさん。「エフリッジホーム」茨城県・鉾田市で建てた友人の家を訪れ、要望を柔軟に聞いてくれる工務店の姿勢に魅力を感じ、依頼を決めました。

開放的なLDKのポイントとなるのは、フランスから輸入したアンティークなどの照明類。ダイニングではペンダントライトを多用し、さまざまなデザインを楽しんでいます。スイッチやノブなど、細かなパーツもひとつひとつ厳選しました。また、和室のドアや子ども部屋の壁を家族でペイントするなど積極的に施工に参加し、思い描いたイメージを自ら形にしました。

あちこちに設けたニッチやオープンシェルフにはコレクションした雑貨や植物が映え、思い入れの詰まった住まいを一層素敵に見せています。



奥の和室までひとつながりのオープンなLDKは、キッチンから全体が見渡せる。古材風に凹凸を加えた梁が、開放的な空間のアクセントに



ナチュラルなキッチンに似合う、造作の吊り戸棚。食器やキッチン用品を収納している。チェッカーガラスの扉は目隠し効果も



ダイニング側の作業台にはパーティーシンクを設けた。ちょっとした洗いや配膳中の手洗いがさっとできて便利だそう

陶器のハンドルでナチュラル&カントリー調に

キッチンはエブリッジホームオリジナル。木肌の風合いを残しながら白く塗装した扉面材に、施主支給の陶器の取っ手を合わせた



Kitchen



床のお菓子づくりを親子で楽しめるよう、ダイニング側に大きな作業台を設けたキッチン。人大理石の天井の上で直接生地をこねられる

ダイニング奥の和室。入口上部の天井を高くし、開放感を出し、お座敷に馴染みやすいようにニッチを作った。シンクは奥さまがおばあさまから受け継いだもの

Japanese Room



納屋の戸をリメイクしておしゃれにイメージチェンジ
引き戸はもともと敷地に建っていた納屋の戸を再利用したもの。ブルーグレーにペイントして、和洋折衷なイメージに作り変えた



右手の「ミール」のビルトインオープンには、お菓子におかずにと、多様に使えて重宝。キッチンの奥はパントリー兼家事室、勝手口と続く

Work Room



家事室に造りつけた作業机。「料理中にレシピを調べることができて便利です」と奥さま。板壁は自ら古材調にペイントした



Living & Dining

南向きで日当たりの良いリビングダイニング。窓横の壁の内部を補強し、ウォールシェルフを取りつけた。コーヒーテーブルは「POLIS」(東京都・港区)で定番サイズより大きめをオーダー

ニッチや造作家具で壁面を思い切りディスプレイに活用

キッチン横にオープンシェルフを造作。壁の凹みにおさめているので、圧迫感を与えずにディスプレイを楽しめる



リビングの壁には建築化照明を設けた。間接照明のあかりはリビングでのくつろぎ時間にぴったり。凹みを利用したディスプレイも映える



やさしい雰囲気のバーチ無垢フローリング

床は傷つきにくく、木肌がきれいなバーチ材を採用。自然塗料「リボス」で白く塗装し、やわらかですっきりとした印象に仕上げた

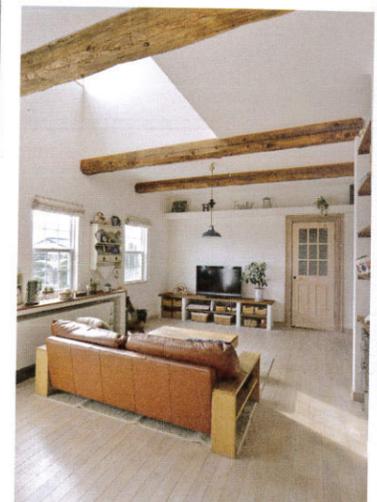


素朴でかわいらしい陶器のスイッチプレート

アメリカンスイッチに陶製のプレートを合わせた。スイッチの見分けとデコレーションを兼ね、シールを貼ってひと工夫



リビングの上は採光にもひと役買う吹き抜け。2階ホールには娘さんのエレクトーンがあり、階下からも演奏を聞くことができる



ダイニングからリビングを見て、テレビボードは壁と一体になった造作。天板と棚板以外は、壁と同じ塗り壁材で仕上げている

海外から取り寄せたアンティークの照明

フランスから船便で運んだというガラスのランプシェード。布を垂らしたような曲線的なフォルムとブルーの縁がおしゃれ



Exterior

PICK UP!

レンガを贅沢に使ったヨーロッパ風の外観

洋書を見てあこがれていたという、全面レンガ張りを実現。色ムラのあるレンガをバランス良く使い、ひととき洗練された外観に仕上げた。白い窓枠との相性もぴったり



ダイニングから出られるウッドデッキの扉は、開放的なフレンチドアにこだわった。「外で食事やお茶をするのも楽しみです」



窓の下のみレンガを縦に並べてアクセントにした。目地はぎっちりしすぎないよう、ラフに仕上げた印象を与えている



玄関ドアは「LIXIL(トステム)」の電気錠つきのもの。外観の雰囲気と合わせ、木目調プリントの趣のあるデザインを選択した

レンガを多用したエクステリアで統一感を

建物に合わせてエクステリアも随所にレンガを使用。芝生の地面には要所にレンガを埋め込み、立水栓もレンガ造りのものを設置した



階段を彩る手すりのデザインにもこだわって

階段の手すりはインターネットで気に入ったデザインを探した。ナチュラルな木製の手すり部分を引き締める、黒いアイアン金具がポイント



Entrance



古いステンドグラスを開閉式の小窓に

玄関を仕切る壁をイギリスのアンティークステンドグラスで彩った。工務店に頼み、窓のように開閉できるようにしたのがポイント



玄関のスペースを2つに分けて使い勝手良く。左側は来客用、カーテンで仕切った右側はシューズラックなどの収納を備えた家族用の出入口



バレエを習っている長女の部屋は、バレエグッズがインテリアのポイントに。窓辺のモビールは「モンシェル」のもの



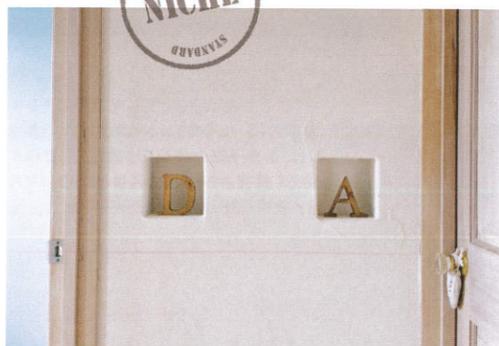
部屋の一角に設置した、アンティークの小さなステンドグラスの窓。2階ホールのあかりがもれて、やさしい雰囲気

長女の部屋。色壁は自然粘土塗料「クレイペイント」で大人っぽいペンダーに。板壁の面には、シェルフやフックなどが取り付け可能



Kid's Room

DIYで塗装した板壁が子ども部屋のアクセントに



ニッチディスプレイをドアプレート代わりに

子ども部屋の横に小さなニッチを作り、子どものイニシャルのオブジェを飾って部屋の主がわかるように表示した、遊び心あるアイデア

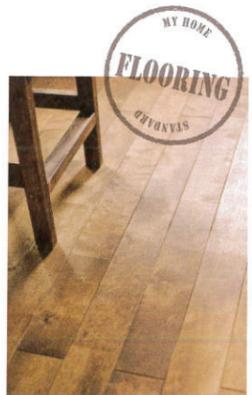
カラフルなガーランドが映える白い板壁は、家族でペイントしたもの。塗料を削って下地を見せるなど、古材風のニュアンスを出すのに苦心した



長男、次男の部屋は将来2分割できる造り。水色の壁も2週間くらいかけて施工施工で塗った。学習机は地元の家具作家にオーダーしたもの

床の塗装を変えて落ち着いた色味に

男の子たちの部屋のフローリングは、樹種はほかと同じバーチだが塗装を変えてブラウンに仕上げた。白より汚れが目立ちにくいメリットも



DATA

家族構成 / ご主人(30代)、奥さま(30代)、長女(11歳)、長男(9歳)、次男(6歳)
敷地面積 / 256.07㎡(77.59坪)
建築面積 / 81.15㎡(24.55坪)
床面積 / 1F 78.66㎡(23.83坪)
2F 59.62㎡(18.06坪)
合計 138.28㎡(41.89坪)

